

平成 26 (2014) 年 本州太平洋サケ 4 年魚の回帰状況 (第 1 報 : 9 月 30 日現在)

独立行政法人水産総合研究センター
東北区水産研究所 沿岸漁業資源研究センター

1. サケ来遊概況

9 月 30 日現在の本州太平洋 (竜飛岬から東の青森県～茨城県) 側の地域におけるサケ来遊 (沿岸漁獲数と河川捕獲数の合計) は 28 万尾 (前年同期 : 135%) と前年を上回っていますが、平年 (平成元 (1989) ～平成 25 (2013) 年の平均値) 同期と比べると 85% という状況です (図 1)。

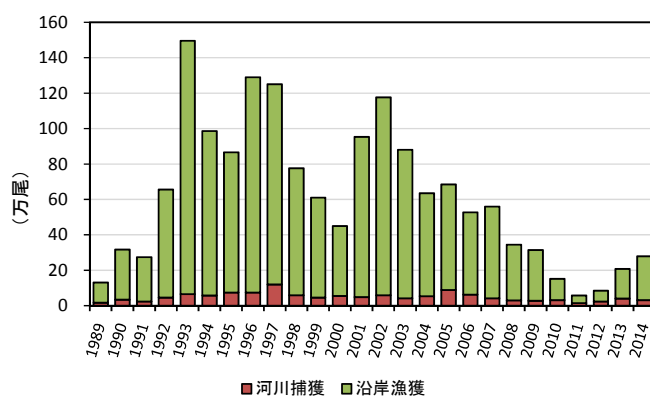


図 1. 8 月 1 日～9 月 30 日までの本州太平洋側におけるサケ来遊数 (累計値).

2. 河川遡上魚の年齢組成と 4 年魚の出現状況

本州太平洋側の河川に回帰したサケの年齢査定の結果、9 月末時点における年齢組成および 4 年魚の出現状況を河川別に示します。

青森県【奥入瀬川】

9 月中、下旬の 4 年魚の割合は、9 月中旬が 77% (前年同期は調査なし)、9 月下旬 49% (前年同期 : 38%) となっており、9 月下旬は前年と比べると割合が高くなっています (図 2)。

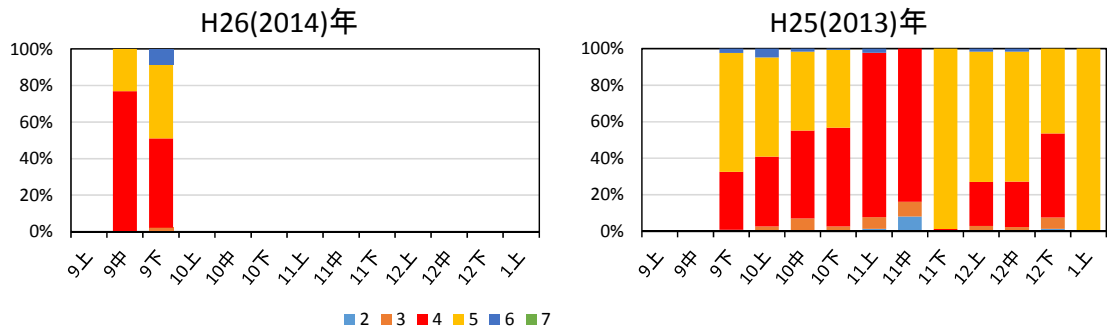


図 2. 奥入瀬川年齢組成

年齢組成に河川捕獲数を乗じて算出した年齢別河川捕獲数を見ると、4年魚の捕獲尾数は前年並み（前年同期との比：103%）となっています（図 3）。

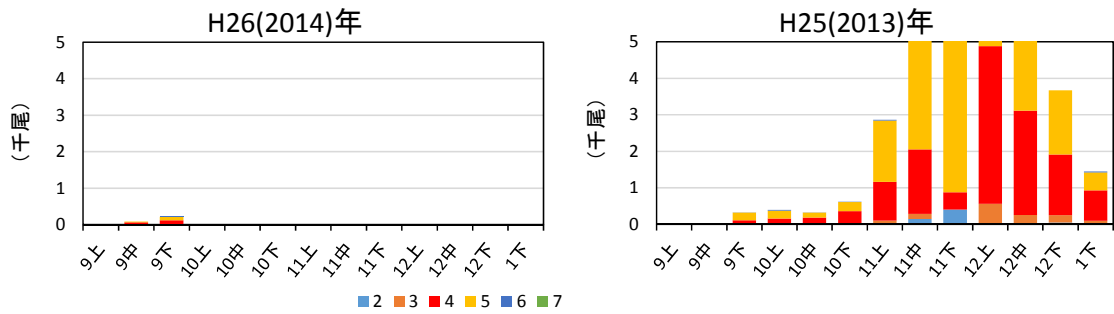


図 3. 奥入瀬川年齢別河川捕獲尾数

青森県【新井田川】

9月下旬の4年魚の割合は、29%（前年同期：12%）となっており、前年と比べると割合が高くなっています（図 4）。

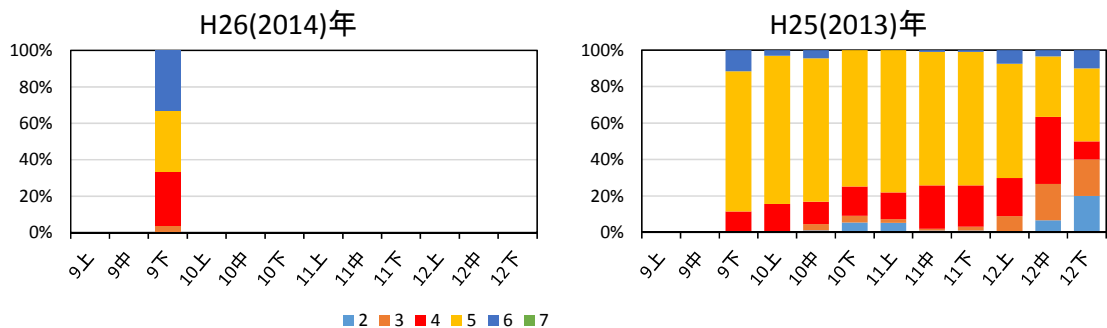


図 4. 新井田川年齢組成

年齢組成に河川捕獲数を乗じて算出した年齢別河川捕獲数を見ると、4年魚の捕獲尾数は

前年を上回って（前年同期との比：297%）います（図5）。

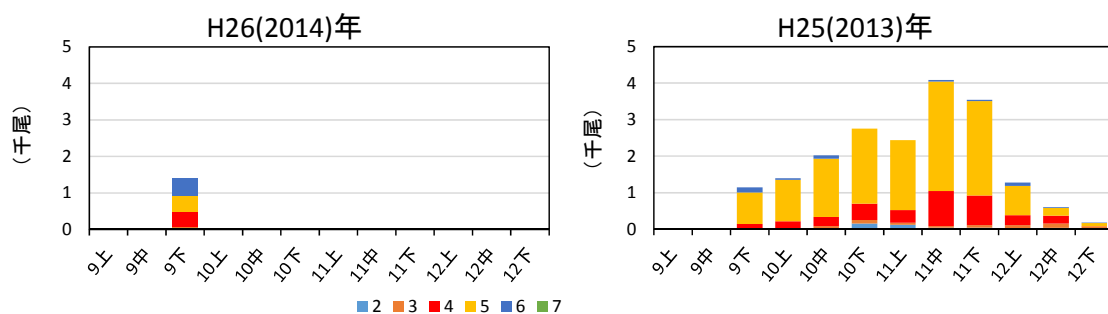


図5. 新井田川年齢別河川捕獲尾数

岩手県【安家川】

9月上～下旬までの4年魚の割合は33～59%（前年同期：21～22%）となっており、前年と比べると割合が高い傾向にあります（図6）。

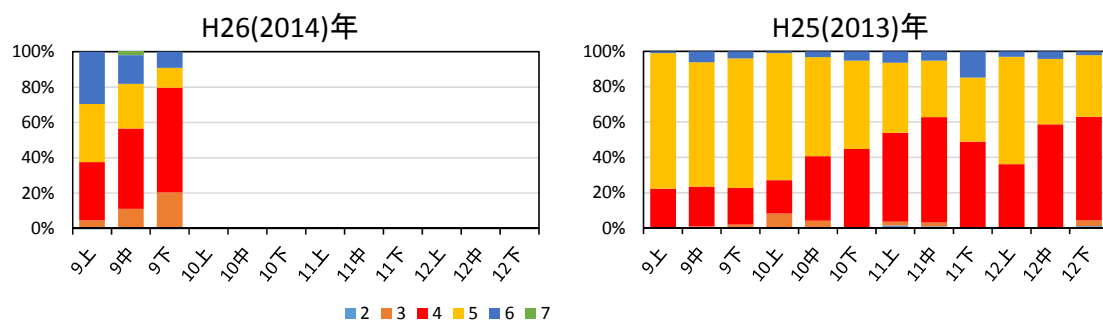


図6. 安家川年齢組成

年齢組成に河川捕獲数を乗じて算出した年齢別河川捕獲数を見ると、9月下旬までの累計値では、4年魚の捕獲尾数は前年を上回って（前年同期との比：122%）います（図7）。

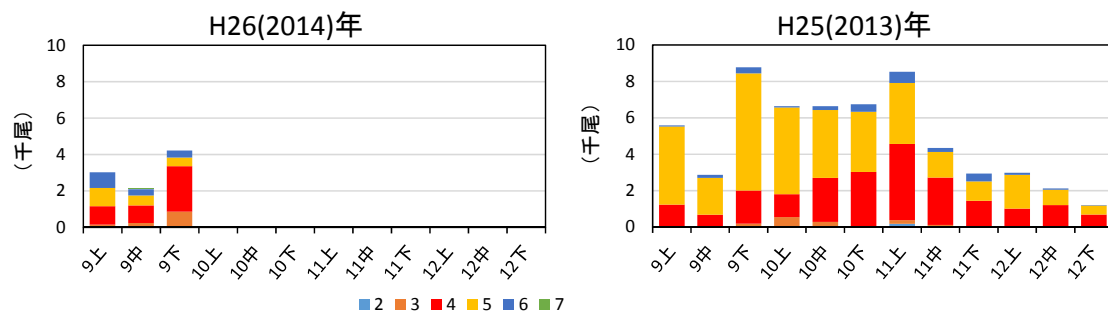


図7. 安家川年齢別河川捕獲尾数

岩手県【津軽石川】

9月下旬の4年魚の割合は59%（前年同期：67%）と前年並みになっています（図8）。

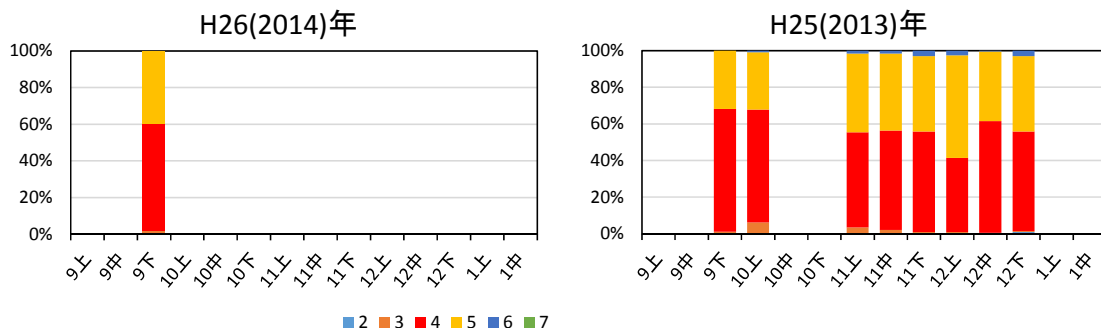


図8. 津軽石川年齢組成

年齢組成に河川捕獲数を乗じて算出した年齢別河川捕獲数を見ると、4年魚の捕獲尾数は前年を下回って（前年同期との比：31%）います（図9）。

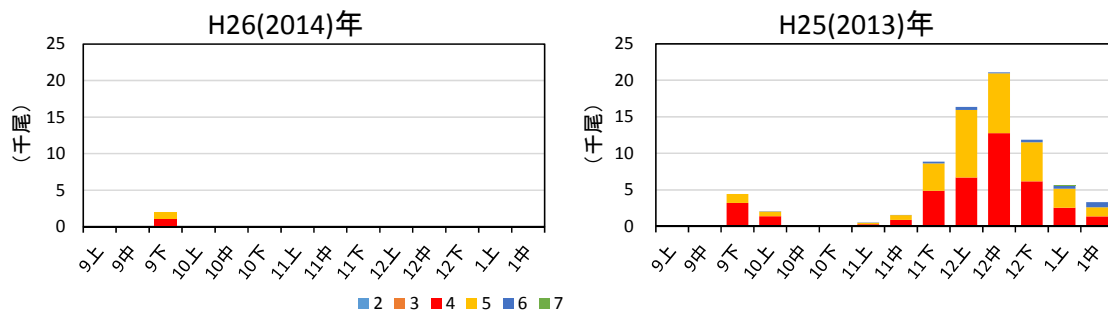


図9. 津軽石川年齢別河川捕獲尾数

例年であれば、本州太平洋側の地域における秋サケの来遊が本格化するのは10月下旬頃になります。9月末現在までの4年魚の出現状況は、震災による顕著な影響がみられないものの、まだ漁期が始まったばかりであるため、今後の動向を注視する必要があります。